

こころとからだに、
おいしいものを。



2023年1月23日

各 位

会 社 名 ダイドーグループホールディングス株式会社
代表者の役職氏名 代表取締役社長 高松 富也
(コード番号: 2590 東証プライム市場)
問い合わせ先 コーポレートコミュニケーション部長 三原 真紀子
電 話 番 号 06-7166-0077

(開示事項の経過) ダイドードリンク株式会社とアサヒ飲料株式会社との 共同株式移転による自販機事業運営会社の設立完了に関するお知らせ

ダイドーグループホールディングス株式会社（以下「ダイドーグループホールディングス」という。）の連結子会社であるダイドードリンク株式会社（以下「ダイドードリンク」という。）は、2022年9月15日にお知らせしました通り、本日付で、アサヒ飲料株式会社（以下「アサヒ飲料」という。）との共同株式移転（以下「本共同株式移転」という。）により、ダイナミックベンディングネットワーク株式会社（以下「ダイナミックベンディングネットワーク」という。）を設立しましたので、下記の通り、お知らせいたします。

記

1. 設立の背景

ダイドーグループのコアビジネスである国内飲料事業を担うダイドードリンクは、2030年のありたい姿を「自販機市場において絶え間ない挑戦と共創で新しい価値を提供し、トップランナーとして業界をリードし続けます。」と定め、最新のテクノロジーを活用したスマート・オペレーション^{*}のさらなる進化に取り組むとともに、顧客志向営業の推進により全国に遍くある自販機のネットワークの強化・拡充を図り、DyDoの店舗である自販機を通じて、お客様の求める価値をお届けしております。

コロナ禍を契機として、自販機市場を取り巻く環境は大きく変化し、原材料価格の高騰や物流費の上昇が収益構造に大きな影響を与える状況の中、自販機に対する業界各社の取り組み姿勢は二極化しており、上位寡占化の傾向がより強いものとなっております。

このような状況の中、ダイドードリンクは、アサヒ飲料と、自販機事業の成長・発展を図るべく、両社の企業価値向上を目的として、2022年9月15日に、自動販売機事業に関する包括的業務提携契約（以下「本業務提携」という。）を締結いたしております。

本業務提携に基づき、ダイドードリンクの100%出資子会社であるダイドービバレッジサービス株式会社（以下「ダイドービバレッジサービス」という。）、株式会社ダイドービバレッジ静岡（以下「ダイドービバレッジ静岡」という。）、ダイドーベンディングジャパン株式会社（以下「ダイドーベンディングジャパン」といい、ダイドービバレッジサービス、ダイドービバレッジ静岡、ダイドーベンディングジャパンの3社を総称して「ダイドードリンク対象子会社3社」という。）と、アサヒ飲料の100%出資子会社であるアサヒ飲料販売株式会社（以下「アサヒ飲料販売」という。）、九州アサヒ飲料販売株式会社（以下「九州アサヒ飲料販売」という。）、株式会社ミチノク（以下「ミチノク」といい、アサヒ飲料販売、九州アサヒ飲料販売、ミチノク

の3社を総称して「アサヒ飲料対象子会社3社」という。)を傘下に置く、ダイナミックベンディングネットワークを設立いたしました。

ダイナミックベンディングネットワークは、当社の連結子会社として傘下6社の自販機による直販事業を一体的に運営し、ダイドードリンコがノウハウを有するIoT技術を活用したスマート・オペレーションを展開していくことで、オペレーションスピードと品質管理能力、生産性の向上だけでなく、労働負荷の低減により将来的な人手不足、人材確保という課題の解決も図ってまいります。また、ダイドードリンコは、協業によるスケールメリットを活かしつつ、スマート・オペレーションの効率的かつ高品質なオペレーションを追求し、自販機市場における確固たる優位性を確立してまいります。

※これまでのオペレーションを抜本的に見直し、生産性の高い当社独自の仕組みをさす

2. 会社概要

① 名 称	ダイナミックベンディングネットワーク株式会社
② 所 在 地	大阪市北区中之島二丁目2番7号
③ 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 笠井 勝司
④ 事 業 内 容	自動販売機のオペレーション業務の委託・受託
⑤ 資 本 金	50 百万円
⑥ 設 立 年 月 日	2023 年 1 月 23 日
⑦ 決 算 期	1 月 20 日
⑧ 出 資 比 率	ダイドードリンコ 66.6%、アサヒ飲料 33.4%

※笠井 勝司は、ダイドードリンコの取締役を兼務しております。

3. 本共同株式移転の要旨

(1) 本共同株式移転の日程

包括的業務提携契約の締結日	2022年9月15日
株式移転計画承認取締役会(対象子会社各社)	2022年12月15日
株式移転計画承認臨時株主総会(対象子会社各社)	2022年12月15日 (アサヒ飲料販売のみ2022年12月20日)
実 施 日 (効 力 発 生 日)	2023年1月23日

(2) 本共同株式移転の方式

ダイドードリンコ対象子会社3社及びアサヒ飲料対象子会社3社を株式移転完全子会社、ダイナミックベンディングネットワークを株式移転設立完全親会社とする共同株式移転となります。

(3) 本共同株式移転に係る割当ての内容(株式移転比率)

ダイドードリンコ対象子会社3社

	ダイドービバレッジ サービス	ダイドービバレッジ 静岡	ダイドーベンディング ゲジャパン
株式移転比率	40.273	5.742	1.3836

アサヒ飲料対象子会社3社

	アサヒ飲料販売	九州アサヒ飲料販売	ミチノク
株式移転比率	1	1.5113	0.61

(注1) 本共同株式移転により発行するダイナミックベンディングネットワークの株式数：普通株式：72,000株

(注2) ダイドービバレッジサービスの株式1株に対して、40,273株、ダイドービバレッジ静岡の株式1株に対して5,742株、ダイドーベンディングジャパンの株式1株に対して1,3836株、アサヒ飲料販売の株式1株に対して1株、九州アサヒ飲料販売の株式1株に対して1.5113株、ミチノクの株式1株に対して0.61株、それぞれダイナミックベンディングネットワークの株式を割当て交付する。

(4) 本共同株式移転に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

ダイドービバレッジサービス、ダイドービバレッジ静岡、ダイドーベンディングジャパン、アサヒ飲料販売、九州アサヒ飲料販売及びミチノクは新株予約権及び新株予約権付社債を発行しておりません。

(5) 剰余金の配当

2022年12月21日を剰余金の配当の効力発生日として、ダイドービバレッジサービス及びダイドービバレッジ静岡からダイドードリンコに総額18億円の配当を行っております。

(6) 本共同株式移転に係る割当ての内容の根拠等

2022年9月15日の開示資料をご参照ください。

4. 今後の見通し

本件による2022年1月期の連結業績への影響はございません。

なお、本共同株式移転に伴う会計処理は、企業結合会計基準における「取得」に該当し、当社の連結子会社であるダイドードリンコを取得企業とするパーチェス法を適用することが見込まれております。パーチェス法の適用に伴い、当社の連結決算においてのれん(または負ののれん)が発生する見込みですが、その金額については、現在精査中であり、今後公表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

また、2023年1月期の連結業績予想につきましては、2023年3月3日に開示を予定しております。

以上

(ご参考) 当社と新会社との資本関係図

